

講師

一期崎 直美

## ■ 学歴

---

1. 2010年 熊本大学大学院教育学研究科養護教育専攻修士課程 修了

## ■ 学位

---

1. 2010年 修士（教育学）

## ■ 研究分野

---

1. 養護教育
- 2.
- 3.

## ■ 研究キーワード

---

1. 養護教諭
2. 専門職
3. ケア

## ■ 研究課題

---

1. 養護教諭による子どもへのケアについて社会的に考察する。養護教諭による子どもを尊重する働きかけについて、他の教員との関係を含めて考察する。
- 2.

## ■ 担当授業科目

---

- |                 |             |    |
|-----------------|-------------|----|
| 1. 学校保健         | (後期) (看護学科) | 選択 |
| 2. 養護概説         | (後期) (看護学科) | 選択 |
| 3. 健康相談         | (前期) (看護学科) | 選択 |
| 4. 学校保健教育法      | (前期) (看護学科) | 選択 |
| 5. 養護実習事前事後指導   | (3期) (看護学科) | 選択 |
| 6. 養護実習         | (通年) (看護学科) | 選択 |
| 7. 教職実践演習〈養護教諭〉 | (後期) (看護学科) | 選択 |
| 8. 看護総合演習       | (通年) (看護学科) | 選択 |
| 9. 看護総合実習       | (通年) (看護学科) | 選択 |

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<b>授業科目名【学校保健】</b> 本科目は、看護学科専門科目の選択科目であり、教諭一種免許状取得希望学生および保健師過程選択学生においては必修科目である。科目内容は、学校保健に活動や学校安全および食育について学ぶ。この知識と実際の活動について触れながら授業を進行する。学生の知識を整理するために、授業後に作成するポートフォリオを小テストに活用できるようにした。現在、学校でも重視される食育については、栄養教諭実務家教員を講師として招き、他職種連携の重要性についても学ぶように構成した。
2.	<b>授業科目名【養護概説】</b> 本科目は、看護学科専門科目の選択科目であるが、養護教諭一種免許状資格取得希望学生にとっては必須科目でもある。養護教諭の専門的な仕事を理解しやすいよう「学校保健」履修後に、本講義を履修する。また、講義「学校保健」を活用し、養護教諭の実践的な活動を事前学習に取り入れている。この事前学習を授業内での発表やグループワーク、実技演習などに取り入れた授業構成にしている。
3.	<b>授業科目名【健康相談】</b> 本科目は、看護専門科目の選択科目であるが、養護教諭一種免許状資格取得希望学生にとっては必修科目である。3年前期科目であり、看護の基礎的な学習、学校保健や養護教諭の仕事については既習している。そのため、既習知識の理解を確認しながら授業内容を構成している。講義だけでなく、課題や振り返りについても討論の機会を設けるなど演習の機会を多く設定している。
4.	<b>授業科目名【学校保健教育法】</b> 本科目は、教職課程における科目で、看護学科養護教諭一種免許状資格取得希望学生にとっては必修科目である。将来、養護教諭として保健教育が実践できることを目指している。教職課程の授業づくりに関する講義内容を確認しながら、教職課程の実習で授業が実践できるよう演習の機会を多く取り入れている。
	<b>授業科目名【養護実習事前事後指導】</b> 本科目は、養護教諭一種免許状取得のための教職課程科目で、実習前後に実施する科目である。教職課程の実習を初めて経験する学生に対して、実習前の準備を重点的に実施し、実習後は振り返りや実習発表会を実施している。実習前の授業内容は、実習に必要な実践的な演習を多く取り入れている。また、外部講師として現職の教諭などを招き、学生の実習に向けての意欲を高めるような授業構成にしている。実習後の実習発表会には、次年度実習予定の3年生に参加を促し、4年生の意欲を高める機会となるよう構成している。
	<b>授業科目名【養護実習】</b> 養護実習は、教職課程科目で、養護教諭一種免許状取得のためには必修科目である。学校で養護教諭としての仕事を体験する3週間の実習である。学生はこれまでグループで実施する実習形態で、単独で実施する実習経験がないため、個別面談の機会を設け準備状況を確認している。また、学生自身が、将来、養護教諭として働くことを目指し積極的に実習するよう支援している。学生が自身の目標を達成することができるよう、実習校と連絡をとり準備をすすめるよう支援する。実習校訪問は、

	学生の授業実施日などに訪問するよう計画している。
	授業科目名【教職実践演習〈養護教諭〉】 <p>教職実践演習は、教職課程科目で、養護教諭一種免許状取得においては必修科目である。教職課程の総まとめの科目である。授業の内容は、現場で働くことをイメージ化しやすいよう、外部講師からの講話、養護教諭が受講する研修会の視聴、特別支援学校訪問などを取り入れている。また、栄養学科との他職種交流で、他職種の理解を深めたり、連携を考える機会となるよう構成している。</p>
	授業科目名【看護総合実習】 <p>看護総合実習は、看護実習の集大成と位置づけられ、課題から主体的に実習を計画し展開していく。学生は、単独で実習を実施する。学生の一人一人異なる課題とその解決に向けて、実習計画について個別支援する。指導者と連絡をとりながら、学生自身が主体的に実習指導者と連絡を取り、実習を進められるよう学生を支援している。実習後の振り返りも、課題解決に結びついたかどうかについて個別面談で把握し、今後にいかすことができるよう支援する。</p>
	授業科目名【看護総合演習】 <p>看護総合演習は看護専門科目の必修科目である。学生自身で問いをたて、レポートを作成し、最終レポートを発表会で報告する。他の科目担当者と協力しながら、学生のレポート作成を支援している。学生の希望によって、講義外でも個別指導を実施している。</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2008年～現在に至る	日本学校保健学会	
2.	2008年～現在に至る	日本養護教諭教育学会	
3.	2008年～現在に至る	日本健康相談活動学会	
4.	2013年～現在に至る	日本教育保健学会	

## ■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
<b>（著書）</b>					
1.					
2.					
3.					
<b>（学術論文）</b>					
1.					
2.					
3.					
<b>（翻訳）</b>					
1.					
2.					

3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

## ■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2022年4月～現在に至る	福岡県若手教員研修(養護教諭)実施協議会	委員
2.	2024年～現在に至る	日本養護教諭教育学会選挙管理委員会	委員
3.	2024年～現在に至る	日本養護教諭教育学会『養護学』の構築にむけたプロジェクト」	メンバー

## ■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2012年4月～現在に至る	教職課程委員会	委員
2.	2018年4月～2024年3月	大学 F.D.部門	委員
3.	2023年4月～2024年3月	1年生アドバイザー	

4.	2012年4月～現在に至る	4年生アドバイザー	
----	---------------	-----------	--